

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

	評 価 日	令和7年 3 月 3 1 日
団 体 名	MINORI act (ミノリアクト)	
事 業 名	食・農・環境が台所につながる「MINORI キッチン」	
事業経費③	532,295 円	支援金額⑨ 399,000 円

事業の目的・内容	地域の課題 ○メタンやN2Oなど二酸化炭素とともに地球温暖化の原因になり、そのN2O発生の人的起因として、農業活動(慣行農法で使われる窒素肥料)が原因の一つとされており、化学肥料に頼らない農業を小さいながらも実践してゼロカーボン社会への消費者の意識を醸成する ○フードマイレージ問題 ○環境を考慮した有機農法を広めるには、消費を選択している消費者の意識改革が一番大切と思うので、農家を対象にした事業ではなく、一般消費者(特に未来ある子供たち)を対象にして意識醸成することに重点を置き、農業に関心がない子、農にふれることができない子、環境に関心がない子など、色々な人に体験を通して食・農・環境のつながりを知り、考えて、行動(生活に活かせる)できるようにする
	事業内容 【食と農の繋がりについて知る】 食に関心を持ってもらい、生きることは、食べる事。食べることは、消費すること。その消費を選択していくことで環境も変わることを考えるきっかけをつくる。 ○上映会「弁当の日」 中佐都小学校6年+親 感想シェア会 ○上映会「弁当の日」+調理実習「味噌汁とおにぎりづくり」 【農から考える】 ○大豆プロジェクト 佐久平浅間小2年(2クラス)・岸野保育園で実施 6月～ 種蒔、除草、収穫、味噌づくり、きな粉作り等 ○米プロジェクト 5月田植え 6月除草 9月稲刈り 10月脱穀 1月収穫祭「新米ご飯と・味噌汁作り」 【食から考える】 ○MINORIキッチン親子幼児クラス 4月ジャガイモ植え 7月じゃがいも収穫 10月さつまいも収穫

事業 の 活 動 実 績	【食と農の繋がりについて知る】 ○「弁当の日」上映会&感想シェア 11月12日（火） なかさとルームと理科室 参加費：無料 参加者 大人23名 子ども34名 ○「弁当の日」上映会＋「おにぎりとうもろこし汁作り」 上映会参加者 大人27名 子ども1名 こどもキッチン参加者 子供23名 子供スタッフ4名 大人スタッフ3名 【農から考える】 ○大豆プロジェクト 佐久平浅間小学校（3年2組、3年3組）2クラスで実施 6月7日（金） 「種蒔」 6月17日（月） 「環境や栄養のお話」 7月10日（水） 「除草作業」 11月18日（月） 「大豆脱穀」 2月27日（木） 「味噌づくり」 1・2時間目（3-2） 3・4時間目（3-3） 岸野保育園 年長児（さくら・ひまわり）2クラスで実施 5月25日（土） 「種蒔」 7月11日（金） 「除草」 11月上旬 「収穫」 11月26日（金） 「脱穀」 2月12日（水） 「きな粉作り」 3月19日（水） 「味噌作り」 ○米プロジェクト 6月2日（日） 田植え 6月6日（木） 除草「ミズニゴール①」 6月9日（日） 除草「ミズニゴール②」 6月13日（木） 除草「ミズニゴール③」 6月14日（金） 補植 6月24日（木） ～除草 10月6日（日） 稲刈り 10月20日（日） 脱穀 1月18日（土） 新米ご飯と・味噌汁作り・味噌作り 【食から考える】 ○MINORIキッチン親子幼児クラス 4月25日（木） ジャガイモ植え 7月24日（水） じゃがいも収穫 10月26日（土） さつまいも収穫

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

果・事業・効の成果	※別添資料
-----------	-------

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ☒ 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 保育園でも大豆の種を蒔くところから収穫までしました。すると、大豆からできるものを知り、収穫出来たら「きな粉を作りたい!」「味噌づくりしたい」等、子供たちから聞くことができました。米づくりを通して、化学肥料や農薬等一切使わない地球温暖化にもやさしい農業や除草作業の大変さなどを知ってもらうことができた
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	☒ 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 佐久平浅間小のみんなと大豆育てを通して環境のことも知ってもらい、環境の為に自分ができる事をみんなで考え話し合うことができた。保育園でも大豆の種を蒔くところから収穫までしました。すると、大豆からできるものを知り、収穫出来たら「きな粉を作りたい!」「味噌づくりしたい」等、子供たちから聞くことができました。米づくりは、田んぼに入り手植えの大変さや化学肥料や農薬等一切使わない地球温暖化にもやさしい農業での除草作業の大変さなどを知ってもらうことができた。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ☒ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 不要になったものや、開催できないものもあった為、変更になりました。（保育園小学校等での調理実習は、ミノリアクトがきな粉づくりや味噌作りをしたため、講師代は不要。講演開催無し。募集チラシ不要。キッチン道具もあるものを使用し、最低限の購入にした。ただ、保育園できな粉作りをやることになり、子どもたちでも扱えるサイズのものを購入した。）
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	【食と農から持続可能な環境を考える】勉強会 おいしいお話し会と勉強会を（遠い講師は）オンラインでつなぎ、総練センター食育室等で定期開催（勉強会やお話し会を通して、環境を考える消費者をつなぐ）
	【農から考える】 ○不耕起で大豆プロジェクト 昨年のカメムシ被害を考慮し、虫除けのためハーブを同じ畑で栽培しコンパニオンプランツで大豆育てをする 10家族程度募集 市内小中学校・保育園等で実施予定（R6は佐久平浅間小、岸野保育園で実施。R7は未定） 6月種蒔、7月除草、10月収穫、2月味噌づくり等 ○米プロジェクト 【食から考える】 ○MINORI食堂（こどもがつくる子ども食堂） ○MINORIキッチン

01

MINORI ACT レポート

【食と農から持続可能な環境を考える】

2025年
3月31日

映画「弁当の日」上映会

11月12日(火) 10:30～

中佐都小学校PTA(理科室) 10名程度

6年西組で実施(なかさとルーム) 50名程度 参加

6年西組では、参観日を使って映画鑑賞し、授業参観時に、親子でなくほかの親と子で対話する為の教材としても使用。

2月3日と5日

6年生で、1日分の給食をお休みし、3～4時間目に調理実習をし、子どもたちが献立作りから行うを実施しました。



映画「弁当の日」上映会

2月16日(日)

映画「弁当の日」上映会＋お話し会

大人27名 子ども1名

同時開催

こどもキッチン

子ども23名 子供スタッフ4名

大人スタッフ3名

MINORI ACT レポート

【食と農から持続可能な環境を考える】

2025年
3月31日



←こども
キッチン

旬を知り
野菜を選ぶ



なぜミノリアクトの活動をしているのかなど環境のこと等も含め上映会の前にお話しました。色々なことを知ったうえで、自分たちが選んでいけるようになったらいいなと。そんなきっかけづくりとなりました。

『弁当の日』上映会 & こどもクッキング 2025年2月16日(日)開催

参加者感想

ずっと涙を流しながら見ていました。自分の子供に、食の大切さについて自分で考えられるようになってほしいと日頃から自炊をしてもらっています。弁当の日を広めることは社会問題に取り組むことにつながると思いました。仕事で子供と関わる仕事(放課後デイ)をしているので、何か取り組みをしたいと思います。素晴らしい機会をありがとうございました

子供達が弁当を作るということはただ作るという以上にそこに関わる色々な事を考えられるとても良い機会なんだという事を知ることができました。我が家でも夕食の手伝いをさせているが他の手伝いよりも一番やった後の表情が良いなと思います。それは自分でおいしく食べれることそして人からも美味しい、ありがとう、と感謝されることで家族の役に立てたという実感が得られやすいからかな、と今回あらためて思いましたこれから子供達と一緒に食事を作っていきたいと思えます。

お弁当の日、子供が台所へ行き好きなものを作って食べる。なかなか忙しい日々で子供と料理する時間がないが、ぜひ一緒にさうやう時間を作っていきたいと思った。

片づけがめんどうで子供に調理をさせていませんでしたが明日からおみそ汁だけでも一緒にやりたいたいと思いました！

お弁当の日を日本中に！性と生と食の大切さも子供だけでなく大人も心にきざもう！

ポロポロ泣いてしまいました。好き嫌い多く食べてくれない息子、作る意味を感じられずランチのハンバーグにたよったり、夫はお母さんがせっかく作ってくれたのに！と怒ってばかりで食卓の雰囲気は最悪です。今日の料理講習会では息子はけっこうかんたん！めっちゃおいしかったわーと笑顔で帰ってきました。信じてなかったのは大人の方だったんだなと思いました。「～な人は～な人です」の席文を全部覚えておきたいと思いました。

お友達に誘われて急遽参加しました。子どもたちだけでおにぎり、おみそ汁作りの体験ができた人においしくできた子供も喜んでいました。映画も子供たちの力だけでお弁当を作るという発想がなかったの食の大切さ、自分で取り組むことの大切さがよく分かりとても感動しました。我が家でもおみそ汁作りに子供と取り組んでいけたらいいなと思います。

娘がお料理をしたいと言うときは、私に余裕がない時でまた今度ね、と言っていましたがもっと娘にお料理をさせてあげようと思います。

2日前に保育園経由で本日のことを知り、急遽申込みさせていただきました。先日家でおにぎりを初めて作ってくれた息子にびっくりしていました。興味関心を持った時をチャンスとし、参加に緊張感の息子でしたが本日の調理中楽しくできていたようで参加して良かったです。映画の内容はとても興味深く本日から我が家でできそう、少しでも取り組んでいきたいです。ありがとうございました

台所育児をやりたいと思いつつも時間に追われ余裕がなく、待っててやちよつとあっちにいってと言う事が多くなっています。お米とぎ、野菜を包丁で切ることも手伝ってもらうこともありますが手を出してしまうので、もう少し余裕をもってまかせてみたいと思いました。

家から弁当の日をつくらうと思いました

いつものごはんよりおにぎりもみそしるもあまくておいしかったです。

お家のごはんよりあじがちがくておいしかったです

おこさま・・・お礼ののしかなかった
親御さま・・・子どもにとって食がどれほど大切な、環境を整えること生き生きと力をつけてあげることも親の大切な役目だと思いました。

おこさま・・・たのしかった
親御さま・・・子どもと一緒にキッチンに立とうと思います

おこさま・・・ありがとうございました

大人スタッフ・・・5歳の男の子が食器洗いに初挑戦しました！
自分たちの作るみそ汁の食材を取りに行くのもいい家だと思いました。
ガラス張りの部屋で小さい子どもたちお母さんの姿が見るので安心感があったと思います。
6年生のこどもスタッフがよく頑張っていました。
素晴らしい！こういった経験はすごく大事だと思います。



当日の様子

2025大豆・米プロジェクト

大豆プロジェクトは、R6はカメムシ被害が多く、収量が少なかった。無農薬栽培なのでその対策をしないとむずかしいと思った。

そして、鳩にも見つかり、芽が出た先から食べられてしまい、対策におわれた1年でした。

種をつないでいくと、どんどん弱くなっていくまたは、病気の発生がおおくみられた。

遠い地域でも栽培し、数年に1度交換できる環境をつくりたい。



米プロジェクト

5月 田植え（手植え）

6月 除草（毎週）

9月 稲刈り・ハゼ掛け

10月 脱穀

ライスセンターの関係で、脱穀が12月になり、収穫祭がまだできていないが、1月に収穫したお米を麴にしてもらい味噌作りをして、おにぎりや味噌汁を味わった。釜でたくご飯会を今後予定。

田植え



R6年度支援金を活用して、除草機「ミズニゴール」をレンタルし使ってみた（他の農家2軒も実験的に使用）が、聞いていた程効果はなく、むしろ稲を倒したり、せっかく植えた稲が抜かれてしまったりなどあり、従来の除草方法（田車）に変えたりなどあり、除草が追い付かない部分もあったが、何とか収穫できた。

ミズニゴールを使用した。。。

全自動は調子が悪く、ラジコン操作で数回、田んぼを走らせたが、稲を倒しぬけてしまう、ラジコン操作が難しく同じところを何度も走ってしまい稲が埋まってしまうなくなってしまった。藻があるところは、走らせると藻と一緒に稲がとれてしまうことがわかった。結局、補植をし、地道に除草することとなった。



大豆プロジェクト@岸野保育園

1年を通して大豆育てし、きな粉・味噌作りをしました。年長組（さくら・ひまわり）37名

5月25日 大豆種蒔（参観日親子で行う）

6月 除草・10月 収穫・11月 脱穀

2月12日 きな粉づくり

2月15日 きな粉のおはぎ

3月19日 味噌作り

子どもたちと大豆のクイズ等交えながら種蒔し、色々なものに変身する大豆の読み聞かせ等も実施
岸野ファームで育てたもち米と、大豆から作ったきな粉で2月の参観日におはぎを試食。

「残った大豆でなにをする？」と話し合い、味噌作りすることになりました。

ジップロック完結する味噌作りをしました。



きな粉づくり→

←味噌作り

大豆プロジェクト@佐久平浅間小3年
(3-2, 3-3) 2クラス

6月種蒔～7月除草～11月収穫・脱穀を一緒にしました。

夏休み前には、環境を考える授業も行い、地球温暖化についてや、今後自分ではどんなことができるかなどみんなで話し合いました。

2月27日 味噌作り実施





収穫体験＋ミノリキッチン

じゃがいも植え、じゃがいも収穫、さつまいも収穫
収穫した玉ねぎで玉ねぎ麴を使った調理等おこない
ました。

家では食べない子も、作ったもの・収穫した物を食
べる様子がみれた。

子どもたちは、畑に行くとき五感をフル活用。色々な
気づきがあり、どろんこになったりとても楽しそう
でした。



じゃがいも堀り

大豆プロジェクトなど
種蒔～味噌作り

大豆種蒔



みそづくり



都内にある会社の福利厚生として
味噌作りワークショップ12月と1月に
開催。

